

タイトル	ときどき選択は難しい
ポーランド語のタイトル	Wybory bywają trudne
テーマ *	d
名前	マルタ・ベレント
ポーランド語の名前	Marta Behrendt
学校名 * 2	ヤギェロン大学
学年	二年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さんは何か人生を大きく変えるような難しい選択を迫られたことがありますか？ 選べるということは、もちろん すばらしいことですが、時々それは私たちを苦しめます。昔の若者には選択肢が少なく、だから選択に迷うということは優柔不断で恥ずかしいことだと考えられていました。

しかし、今の時代、私たちはいろんな道を選ぶことができます。例えば何が勉強をしたいか、将来何になりたいか。これは一見、自由で希望あふれる選択に思えますが、実はそれだけではありません。子どものころは好きなものを選ぶことに何の迷いもありませんでした。しかし、大人になって、少しずつ賢くなるにつれて、世の中のことを知ったり、人生の意味を考えたりするようになります。でもこれが大きな問題です。突然足元が崩れ落ちて真っ暗な穴に落ちたように、どこに向かえばいいのか何を選べばいいのかわからなくなります。そして家族には「バカになるから大学に行け」と言われ、大学で専門を決めたら今度は「それは間違っただ」と言われることもあります。ぐるぐるめぐる選択肢の中でパニックになる私に誰かがこう言います「これは一生に一度だけのチャンスだ」と。それは叫びたくなるような恐怖とストレスです。

ですが、人生において、何かを選ぶことは恐れることではありません。選択の自由があればこそ、何かに失敗した時、選択を間違っただのではないかと不安になります。私は一年前のちょうど今頃、日本語の試験に落ちてしまい、泣いていました。どうしてこんな漢字がいっぱいの日本学科なんて選んでしまったんだ、もっといい選択があったはずなのだと思います。でも、やっぱりあきらめたくないと思った時、自分が本当はどうしたいのかがはっきりわかった気がしました。「正しい選択」が何かはわかりませんが、私は自分の心の声に従ってあきらめないという道を選びました。そして今日、私はここに立って、ちょっと前までまったく知らなかった外国語で皆さんに話しています。自分の足でしっかりと立てば、道は未来につながっていきます。私が皆さんに伝えたいのは、選択に悩むことは恥ずかしいことではないし、自分が進みたい道を選ぶのは自分自身の心だということです。このメッセージを未来への勇気の種として植えたいです。何かに挑戦するという勇氣ある選択を恐れなくてください。

Streszczenie (60-70 słów)

To przywilej mieć wybór ale dokonanie go wiąże się z odpowiedzialnością. W dzisiejszych czasach młodzi ludzie stawiani są przed wyborami, które mają decydować o ich dalszym życiu. W obliczu presji rodziny i społeczeństwa może się to wydawać straszne i przytłaczające. Chciałabym obalić ten wrogi obraz wyborów, które czekają młodzież, wkraczającą w dorosłość i zaszczerpić odwagę w młodym pokoleniu aby nie bać się podejmowania decyzji, o które chcemy walczyć.